

議会だより

2026
NO. 58

令和8年
2月1日発行

議員が編集した、まんのう町民と議会をつなぐ広報誌

力強く駆け出そう

— 大宮神社 —



今回の定例会



令和8年	
まんのう町議会議員 新年の決意	2
12月定例会	3
委員会報告	11
いっぺん来てつか 議会報告会	14
委員会研修報告	16
8人が町の考えを問う 一般質問	19
まんのう町の春夏秋冬	24



2月バージョン
まんテンちゃん



まんのう町議会
ホームページ

住みやすい町づくりを目指して

<https://www.town.manno.lg.jp/life/4/25/>



川原 茂行



昭和・平成・令和に
生きる我が人生



迎春万福
げいしゅんばんぷく

川西 米希子

て健やかに暮らせるまちづくりに向け、
議会としても全力を尽さなければなら
ないと身の引き締まる思いです。本年
が皆様にとって実り多き年となります
よう心よりお祈り申し上げます。
まんのう町議会 副議長

謹んで新春のお
慶びを申し上げ
ます。
新たな年を迎え、
あらためて住民の
皆様がより安心し
ます。



福徳円満
ふくとくえんまん

大西 樹

まんのう町議会 議長

新年あけまして
おめでとうござ
います。
本年、まんのう町
合併20周年とい
う節目を迎えるに
あたり、町民の皆様のご尽力に敬意
を表し、心より感謝申し上げます。
引き続き未来に向けたまちづくり実
現のため、議会としての責務を果た
してまいります。



白川 正樹



先憂後楽
せんゆうこうらく
まず先に心配事や苦勞を
解決し、その後に楽しみ
を得るように



白川 皆男



この一年が
笑顔あふれる年に
なりますように



松下 一美



一期一会
出会いを大切にし、
一意専心で頑張っ
てまいります



大西 豊



町民の皆様の声に耳を
傾け、住み良いまんの
う町のために頑張ります



京兼 愛子



平穩無事
今年も誠心誠意
頑張ります



竹林 昌秀



住民本位で
本分の発揮



合田 正夫



終始一貫
日々頑張ります



三好 郁雄



笑う門には福来る



真鍋 泰一郎



歩歩是道場
ほほこれどうじょう
いつでもどこでも
修行の気持ちで



石崎 保彦



善負己由
ぜんぱいおのれによる
自分に起こることは、
全て自分の日頃からの
思考と言行の現れ



鈴木 崇容



揺るぎない信念
周りに左右されず決して
変わらない自分の考えや
思いを持つ



常包 恵



一期一会
出会いを大切に
感謝の気持ち忘れず

令和7年12月定例会

開催期間

12月2日～12月16日（15日間）

町一般会計補正予算(案)(第2号)

町国民健康保険特別会計補正予算(案)(第1号)

町後期高齢者医療特別会計補正予算(案)(第1号)

町介護保険特別会計補正予算(案)(第2号)

町下水道事業会計補正予算(案)(第1号)

琴南町民プール条例の廃止

町過疎地域持続的発展計画の策定など

22議案の審議を行い、原案通り可決した。

まんのう天文台

令和7年

12月定例会

即決案件

【議案第1号】

町職員の給与に関する条例の一部改正

- 令和7年の香川県人事委員会勧告に基づき、他の地方公共団体の職員給与の状況等も踏まえて検討を行い、給料表並びに期末・勤勉手当等の改正を行った。
- 4月にさかのぼり職員の給料表を3%引き上げた。
- 4月にさかのぼり宿日直手当の上限額を66000円から70500円に引き上げた。
- 4月にさかのぼり初任給調整手当の上限額を41万6600円から41万7600円に引き上げた。
- 12月の期末勤勉手当率について、一般職員及び再任用職員ともに

合計0.05月引き上げた。(期末0.025月、勤勉0.025月)

- 令和8年6月・12月の期末勤勉手当率を一般職員及び再任用職員ともに平準化した。

- 令和8年4月以降の通勤手当を改正し、55〜60kmは3万3500円(新設)、60km以上は3万6300円を上限とした。

【議案第2号】

町特別職の職員で常勤のもの
の給与及び旅費に関する
条例の一部改正

- 人事院勧告の趣旨等を踏まえ、特別職の期末手当率の改正を行った。
- 令和7年12月期末手当率を0.05月引き上げた。
- 令和8年6月・12月の期末手当率を平準化した。

【議案第3号】

町議会議員の議員報酬及び
費用弁償等に関する条例の
一部改正

- 人事院勧告の趣旨等を踏まえ、議員の期末手当率の改正を行った。
- 令和7年12月期末手当率を0.05月引き上げた。
- 令和8年6月・12月の期末手当率を平準化した。

【議案第4号】

町一般職の任期付職員の採用
等に関する条例の一部改正

- 令和7年の香川県人事委員会勧告に基づき、他の地方公共団体の職員給与の状況等も踏まえ4月にさかのぼり特定任期付き職員の給料表の引き上げ改正を行った。

【議案第5号】

町職員の育児休業等に関する
条例の一部改正

- 【議案第6号】
町職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正

- 議案第5号・6号は、地方公務員の福祉および育児休業等に関する法律の改正に伴い、職員が安心して仕事と育児・介護を両立できる環境を整えるため本条例の整備を行った。





町産材利用の拡充

【議案第8号】

町地域木材利用促進条例の一部改正

本条例は、町産材の利用促進を図るとともに、町への定住を促進することを目的としたものである。令和8年3月31日限りとしていた有効期限を5年間延長し、令和13年3月31日までとした。



【議案第9号】

町税条例の一部改正

地方税法および地方税法等の一部を改正する法律が公布されたことに伴い、整合性を図るため本条例の一部を改正した。



【議案第10号】

町国民健康保険条例の一部改正

マイナンバー法により、発行済みの健康保険証が令和7年12月1日に無効となったことから、本条例中の「被保険者証」の記述を削除した。



【議案第12号】

町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正

児童福祉法の一部改正に伴い、本条例の一部を改正した。これまでも児童養護施設等の職員には虐待を発見した場合に通報する義務が課せられていたが、今回の改正により新たに放課後児童健全育成事業に従事する者にも適用されることとなった。



【議案第13号】

町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正

内閣府令の改正により、「特定子ども・子育て支援施設等の運営に関する基準」が追加されたことに伴い、本条例の一部を改正した。



意外と簡単です マイナ保険証

【議案第14号】

町特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

令和8年1月に協議会委員を委嘱し、町文化財の保存及び活用に関する総合的な計画策定を行うことに伴い、文化財保存活用地域計画協議会委員の報酬日額を定めた。

○日額8000円（ただし4時間未満は5000円）



【議案第17号】

字の区域の変更

まんのう町長尾地区において、県営中山間地域総合整備事業（ほ場整備事業）を施行したことに伴い、従来の字界が原形をとどめなくなつたため新字界を定めた。



付託案件

教育民生常任委員会

【議案第11号】

町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の制定

児童福祉法の規定に基づき、乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定めた。

主な質疑と答弁

▼こども誰でも通園制度

委員 とても良い事業だが、受け入れに際し、対象の乳幼児等がなじむのか心配だ。

執行部

各こども園では、毎年入園の際に環境変化に対して不安を持つ乳幼児には気配りをした対応を行い、次第に慣れるようにしている。今回の事業においても、まず申請を受け付け、乳幼児と保護者の面談を実施し、対応を考えていくが、その過程において不安も次第に解消されると考える。

委員 今回の条例内容は支援事業に関わる事業者側の設備と運営に関する内容だが、制度の運用要綱や規程はどう策定するのか。また、想定される予算の計上や人員の配置はどうか。

▼運用要綱・規程・予算・人員

委員 今回の条例内容は支援事業に関わる事業者側の設備と運営に関する内容だが、制度の運用要綱や規程はどう策定するのか。また、想定される予算の計上や人員の配置はどうか。

執行部 想定される利用人数や利用時間の設定等は、3月の定例議会でお示しする。費用は月10時間までは国費措置され、超過する部分は町の一般財源を充当する。人員は1名の配置は義務付けられているが、休憩時の交代要員等にも配慮が必要と考える。

執行部 想定される利用人数や利用時間の設定等は、3月の定例議会でお示しする。費用は月10時間までは国費措置され、超過する部分は町の一般財源を充当する。人員は1名の配置は義務付けられているが、休憩時の交代要員等にも配慮が必要と考える。

委員 今回の条例内容は支援事業に関わる事業者側の設備と運営に関する内容だが、制度の運用要綱や規程はどう策定するのか。また、想定される予算の計上や人員の配置はどうか。

執行部 想定される利用人数や利用時間の設定等は、3月の定例議会でお示しする。費用は月10時間までは国費措置され、超過する部分は町の一般財源を充当する。人員は1名の配置は義務付けられているが、休憩時の交代要員等にも配慮が必要と考える。

委員 今回の条例内容は支援事業に関わる事業者側の設備と運営に関する内容だが、制度の運用要綱や規程はどう策定するのか。また、想定される予算の計上や人員の配置はどうか。



【議案第15号】

琴南町民プール条例の廃止

琴南中通町民プールと琴南造田町民プールについて、気温の異常な上昇に伴う「熱中症アラート」や「雷注意報」発令の影響により、一般開放できない日が多い状態が続いているため、それぞれ一般開放を取り止めることとした。

主な質疑と答弁

▼今後の使用

委員 今後のプールの使用はどうするのか。

執行部 一般開放は中止するが、授業での使用は継続し、他の利用は考えていない。



水泳の授業では使用します(造田)



〔議案第19号〕

町国民健康保険特別会計補正
予算(案)(第1号)

事業勘定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ3624万7千円を追加し、歳入歳出それぞれ21億8624万7千円とした。



〔議案第20号〕

町後期高齢者医療特別会計
補正予算(案)(第1号)

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれに後期高齢者医療広域連合納付金の増額分971万8千円を追加し、歳入歳出総額を3億8171万8千円とした。



〔議案第21号〕

町介護保険特別会計補正予算
(案)(第2号)

歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1億5041万4千円を追加し、歳入歳出予算の総額を28億2241万4千円とした。主な補正は、国・県・支払基金への返還金の増額1億1468万4千円である。



すこやかに安心して生活を

主な質疑と答弁

▼地域密着型介護予防サービス

委員 地域密着型介護予防サー

ビス給付金が大幅増額となった要因はなにか。

執行部 要支援の方のグループ

ホーム利用開始に伴い発生したもので、今回初めてのケースである。今後も想定されるので、介護保険給付全体の中で予算配分を検討する。



建設経済常任委員会

〔議案第22号〕

町下水道事業会計補正予算
(案)(第1号)

人事異動に伴う総経費の増額、支払い利息と企業債取り扱い経費の増額により、収益的支出を218万8千円増額した。

企業債償還金の不足に対応するため、資本的支出を1294万9千円増額した。



ご当地マンホール

総務常任委員会

【議案第7号】

町行政放送告知施設の設置及び管理に関する条例の一部改正

まんのう町光ネットの加入に関して、町外に住所又は主たる事業所を有する者が、町内で事業を実施する施設等に受信設備を設置可能とするために加入資格に関する規定を改正した。また、複数台の設置を可能とする規定も追加した。

主な質疑と答弁

▼対象の事業者

委員 今回の改正により対象となる事業者はどのようなものか。

執行部 ADSL回線の終了に伴い、町内に工場を有する食品製造会社から、まんのう町光ネットへの加入の問い合わせが寄せられて

いる。また、太陽光発電設備の監視体制への利用も検討されている。

【議案第16号】

町過疎地域持続的発展計画の策定

現行計画が令和8年3月31日で期間満了となるため、令和8年4月1日から5年間で計画期間とする新たな計画を策定した。

主な質疑と答弁

▼マイクロバス購入

委員 現在、3台(仲南支所2台、健康増進課1台)のマイクロバスがあり、老朽化による更新を検討しているとのことだが、今回の計画では何台の購入を予定しているのか。

執行部 仲南支所の2台は廃車を予定している。今後の購入台数は、関係課などで協議をする。また、購入に際して過疎債を活用するべく計画に組み込んだ。



長年活用したマイクロバス

▼宅地開発

委員 本計画に、住宅施策として良好な宅地開発の促進を項目として追加できないか。

執行部 町が宅地の開発・提供する政策は、旧町時代の段階で一定の役割を終えていると考えている。今後は民間の活力による住宅開発を期待しており、その取り組みを支援する立場をとる。

▼期間中の計画変更

委員 本計画は5カ年計画であるが、住民ニーズ変化に対応できるように、期間途中で計画変更をすることはできるのか。また、その場合、議会の承認・議決の取り扱いはどうなるのか。

執行部 県との協議が必要となるが、計画変更は可能であり、その際には、議会の承認を求められることになる。



【議案第18号】

町一般会計補正予算(案)(第2号)

物価高対応子育て応援手当給付費(子ども1人当たり2万円)、障害者自立支援給付費、学校給食の材料費の増額などのため、歳入歳出それぞれ2億8805万1千円を追加し、歳入歳出予算の総額を133億7407万5千円とした。



いただきますーす ぱくっ!

事前に、教育民生常任委員会、建設経済常任委員会において、それぞれの所管部分の質疑を行い、執行部の説明を了解した旨、総務常任委員会に報告があった。

主な質疑と答弁

《教育民生常任委員会関係》

▼学校給食の材料費

委員 学校・こども園の給食材料費が増額しているが、現状はどうなっているのか。給食の質の低下の懸念はないのか。

執行部 給食材料の価格が現在高止まりしており、今後の更なる値上がりも懸念されることから、予算を増額計上した。参考として、

県学校給食会の通知では、1キロ当たりの米価が469円から11月より645円へと約1.3倍に値上がりしているが、本町では、地元生産者の協力により、年度当初の単価のまま納入いただいている。また、教育委員会としては、材料費が上昇しても、給食の質や量は維持することを心がけている。

《建設経済常任委員会関係》

▼危険空き家と耕作放棄地

委員 老朽空き家除去支援事業費を増額しているが、危険空き家問題は全国的な課題であり、町から国や県に対して要望するべきではないか。また、耕作放棄地の増加も課題であり、併せて要望してほしい。

執行部 県に対して本町の重点事項として要望する。



増加する老朽空き家

執行部 現時点では、新たな事業は考えておらず、企業誘致に係る費用に充当することを検討している。

▼会計年度任用職員

委員 人事院勧告による会計年度任用職員に対する影響や待遇面の改善はあるのか。会計年度任用職員も一般職員と同じ町行政を担う一員であるとの認識に立ち、モチベーションが維持されるように適切に対応してほしい。

執行部 期末・勤勉手当において、一般職員と同様に0.05月分の増額となるが、給与の4月遡及は仲多度郡内の他町と同様に実施しない。



《総務常任委員会関係》

▼合併特例債の減額

委員 歳入において合併特例債が3040万円減額され、発行額に余裕ができたが、今後、新たな充当事業を考えているのか。

町議会を傍聴してみよう

町議会は、町民の皆さんの意思を行政に反映させる機関です。会議当日、受付で手続きをすれば、どなたでも傍聴できます。受付は、町役場4階議会事務局窓口で行います。お気軽にお越しください。



**12月定例会
傍聴合計人数 12名**

傍聴にお越しいただきありがとうございます。



**次回の定例会は
3月に開催予定です。**

会議日程は、ホームページ、告知放送でお知らせしています。

詳しくは議会事務局へ ☎ 0877-73-0109



四国地区町村議会議長会 自治功労者表彰を受賞

表彰状を
けがさないよう
頑張ります



白川 正樹 議員

教育民生常任委員会 報告



令和6年の参加の様子

●戦没者追悼式

■今後の中学生参加は

【委員】 まんのう町戦没者追悼式に今後中学生の参加はあるのか。ぜひ参加を望みたい。

【福祉保険課長】 来年も今年同様、準備の手伝い等を継続の予定である。中学生の参加は有意義であるため、学校のカリキュラムや行事予定と早期に調整し、参加を検討していきたい。

●介護保険事業

■ケアマネージャーの訪問件数

【委員】 介護保険事業の各訪問事業における件数が減少しているが要因は何か。

【福祉保険課長】 ケアマネージャーの訪問件数の減少は、外部委託へのシフトによるものである。独居高齢者世帯の6月・7月の訪問件数の増加は、エアコン設置状況に応じた酷暑時における健康状態の確認訪問が増えたことによる。

【委員】 訪問事業の外部委託における、情報の収集・共有・対応の懸念はないのか。

【福祉保険課長】 委託後は大きな変化がなければ特に連絡は受けないが、ケアマネージャー連絡会等で、相互に情報共有し、知見の蓄積とサービス水準の維持を図っている。

●若者サポート

■事業内容と成果は

【委員】 就労相談とあるがどんな事業なのか。

【福祉保険課長】 何らかの障がいを持つ方の就労相談で、サポートステーションが提携している事業所等に就労をつなぐものである。マッチングが難しい状況の中で、令和5年度が相談16件に対し就労が2件、令和6年度では、相談37件に対し就労2件となっている。

●健康診査・人間ドック

■利用実績はどうか

【委員】 健康診査・人間ドックの町内住民の利用状況はどうか。

【健康増進課長】 健康診査は、同一人の複数回受診を含むため、単純比較は難しいが、各実績は、他町と比べて高い水準である。



●四条公民館駐車場整備

■進捗状況と完成時期は

【委員】 四条公民館の駐車場の整備の進捗状況と完成時期はいつ頃か。

【生涯学習課長】 舗装面積は4000㎡で、今年度は2000㎡を計画していたが、進捗状況によっては約3分の2まで行う予定であり、令和8年度には、県と協議し、残りの駐車場1列分の舗装等を予定している。



整備が進む駐車場

●複式学級の状況 実施状況

【委員】 琴南小学校の学級数6のうち、複式学級はあるのか。

【学校教育課長】 通常学級が5、特別支援学級が1で、複式運営を行っている。現状は3年生が6名、4年生が4名で複式学級の基準16名未滿のため複式学級としている。5・6年生も未達だが県の複式解消加配1名により複式に至っていない。

建設経済常任委員会 報告

●現地調査

仲南振興公社が指定管理者である、塩入ふれあいセンター（塩入温泉）塩入ふれあいロッジ、塩入ふるさと研修館、塩入健康センター、仲南道の駅交流センター、仲南特産品センター、二宮飛行館の7施設を現地視察した。



塩入温泉ボイラー室

●地籍調査

➡予定通りに

【委員】地籍調査事業の現地調査は、計画どおり令和10年で調査完了となるのか。
 【地籍調査課長】現在の計画では、令和10年の完了を予定している。

●新規営農 ➡農業活性化

【委員】9月29日の農業相談において、新規就農に関する企業参入の相談とあるが、どの程度、話が進んでいるのか。
 【農林課長】米の販売価格の高騰の影響を受けている飲食店から、町内でお米を作りたい、土地を借りたいとの相談があり、現在は候補地を探している状況である。

●道路白線

➡安心安全な道

【委員】県道・町道等の道路の白線や横断歩道の線が消えかけており、非常に危険な箇所があるため、早急に対応できないか。



消えかかった道路標示

【建設土地改良課長】危険箇所

所に関しては、警察や県などの管理者に要望し、町道においては随時対応している。

●ひまわりオイル

➡販売低迷

【委員】ひまわりプレミアムオイルの売れ行きが悪いのは、商品の知名度が低いことが要因ではないか。
 【地域振興課長】販売に鋭意努力はしているが、伸び悩んでいるのが現状である。さらなるPR活動をするよう、ひまわり振興協議会に伝える。



総務常任委員会 報告

●消防団

外国人も加入可能

【委員】消防団組織概要調査の項目に「外国人団員数」

という区分があるが、外国人も加入できるのか。

【総務課長】加入は可能である。



●職員採用

6名に合格通知

【委員】職員採用の状況はどうなっているのか。

【総務課長】9月に2次試験を行い、行政職3名、保育士3名の計6名に合格通知を出した。また、社会福祉士の経験者枠1名の採用試験を行っている。

●国勢調査

回収率は約8割

【委員】国勢調査の回収率や調査員の状況等、動向はどうなっているのか。

【企画政策課長】回収率は79.1%で、内訳はネット38.2%、郵送40.9%となった。調査員は、町職員90人、民間8人、施設7ヶ所である。また、指導員として、町職員2人、民間16人が従事した。

●ガソリン暫定税率廃止

歳入への影響

【委員】国において、ガソリン暫定税率の廃止が議論さ

れている。生活者にとっては価格低下で望ましいが、その他関連税制の改正による本町の歳入への影響はどの程度なのか。

【総務課長】揮発油譲与税の減収見込みが考えられるので、調査のうえ報告する。

●琴南・仲南支所

今後の支所のあり方

【委員】支所の窓口業務の受付件数が減少している。マインバーカードの普及やコンビニ交付に抵抗の少ない世代の増加により、この傾向は続く可能性が高く、将来的に支所の窓口機能を縮小せざるを得ない時がくるかもしれない。今後の支所のあり方を、役場全体で検討してほしい。

【総務課長】すべての住民が取り残されることのないよう、美合出張所も含め、琴南・仲南の両支所をどのように展開していくのか、役場全体で検討する。

●町公式LINE

登録者を増やそう

【委員】公式LINEの地域設定を活用し、ごみ収集日のお知らせをしている自治体がある。ただし、この取り組みは登録者が少なれば効果が薄い。登録者を増やす手立てをどう考えているのか。

【企画政策課長】登録者増を狙い、公式LINE登録者向けのLINEスタンプの導入を検討している。

また、スマホ所持者が増えているため、回覧後も情報が残る電子回覧板の研究を進めている。

友だち募集中だよ！
よろしくね！



もっと身近な議会に!

いっぺん
来てつか!



琴南公民館

発達障がい児支援

町内には、発達障がい児の特性に配慮された遊び場がない。



【議員】ノーマライゼーションの考えのもと、障がいの有無にかかわらず、誰もが地域の中で安心して暮らし続けられるまちづくりが求められています。障がいのある子どもが周囲に気兼ねすることなく過ごし、遊べる場所を地域の中に確保していく事は大切なことだと思います。

11月18日(火)・19日(水)町内4会場におきまして、44名の住民の皆様にご参加いただき、議会報告会(意見交換会)を開催しました。

ご参加いただきました住民の皆様と子育て・防災・農林業・若者定住・自治会・町財政等について、活発な意見交換を行うことができました。議会報告会(意見交換会)の内容につきまして、一部ですがお伝えをいたします。皆様からいただきました貴重なご意見等は全議員で共有し、今後の議会活動にいかしていきたいと思っております。議会報告会にお越しくださいました住民の皆様、本当にありがとうございました。



仲南振興公社



- ・赤字だが社員は努力しているのか。
- ・ふれあいロッジをもっと活用できないか。
- ・塩入温泉は今後どうするのか。
- ・塩入温泉はもっと町内利用者が増えるような工夫をしたうえで存続してほしい。
- ・仲南特産品センターは税金で補填しているのは承知しているし、赤字のままで良いとは思わないが、なくなれば生産者の販売先がなくなる。改善策を模索し存続できるようにしてほしい。



スポーツセンターまんのう

【議員】仲南振興公社が運営する各施設につきましては、現在経営診断を含めた課題の整理が行われております。その結果を踏まえ町から議会に対し、各施設を今後どのようにしていくかについて、12月に一定の方向性が示されることになっています。

*議会報告会(意見交換会)の内容は、町ホームページに掲載予定です。各公民館には、冊子にてお届けさせていただく予定です。

製材所誘致

- ・投資に対しての効果はあるのか。
- ・今日話を聞くと必要な経費の面でも、効果の面でも納得できる良い取り組みだと思ふ。これまでに候補地となった住民に対しても、もっと熱意ある説明があれば納得できたのではないかと思ふ。
- ・木材を搬出するための道路整備も必要だと思ふ。町外からは木材が多く届くが、町内から届かないのでは企業誘致の意味がない。



仲南公民館

【議員】この事業は補助金を活用するとともに、有利な起債を用いての官民連携の事業です。企業の誘致場所は町内外からの木材搬入に適した立地です。既に阿讃山脈の中腹の財田から塩江までの道も整備されていることから、そのルートを活用した木材搬入が行われることになると思ふ。

資源ごみの回収

町内に民間のリサイクルセンターが1カ所できたのは評価するが、もっと他にもできないのか。

【議員】今後、町内にあと2カ所できるよう計画が進められていると聞いています。

議会報告会

今回の議会報告会では、意見交換のテーマを設定しての開催だったが、そのことの知らせがなかった。事前に知らせてほしかった。

【議員】事前の周知が充分でなかった点については反省すべき点であると受け止めています。今後は取り上げるテーマについても事前にお知らせをし、住民の皆様が意見を述べやすい形で開催できるよう改善していきたいと思ふ。

空き家対策

- ・空き家を利用して、町外からの移住者の受け入れにも力を入れていくべきではないか。
- ・若い世代ばかりではなく、退職後の世代の移住も良いのではないかと思ふ。
- ・町の空き家対策はどうするのか。



役場本庁

【議員】本町では、空き家対策専従の「地域おこし協力隊員」を1名雇用しています。空き家バンクの登録に力を入れており、いくつかの物件で手続きが進んでいる状況です。2拠点生活という新しい暮らし方も広がっている中、本町でもそのような形での移住・定住を進めていくことも必要ではないかと思ふ。

ご要望は、議会より執行部にお伝えしました。

地域の活力を守る元気な小学校

令和7年11月11日(火) 岡山県 真庭市立中和小学校^{ちゅうか}

蒜山の中山間地域にある全校児童12名 委員5名全員が目からうろこで大満足の体の複式コミュニティ小学校である。地域 験だった。

の活力を守るために、小学校を残すことからスタートした。地域住民と移住者と児童がともに生活し、成長していく様子を拝見し、視察団全員がとても元気をもらった。まんのう町がこれから取り組む「学校の適正配置」を考える場合に、学校が児童と地域を守り育てることの大切さを認識できた。有意義な内容が詰まった視察となり、



複式学級での活発な活動資料の視察

文化財保存活用地域計画の先進地へ

令和7年11月12日(水) 島根県津和野町

山間の小さな盆地に広がる町並みは小京都の代表格として知られ、「重要伝統的建造物群保存地区」に指定され、^{さぎまい}鷺舞は2022年に

^{ふりゅうおどり}「風流踊」の1つとしてユネスコ無形文化遺産に指定された。津和野町文化財保存活用地域計画は、津和野町歴史文化基本構想を検証



重要伝統的建造物内で活用計画の説明を受けた

し、発展的に今後10年間の津和野町における文化財の保存・活用に関する基本計画であるとともに、実効性のある行動計画としており、まんのう町がこれから取り組む「文化財保存活用地域計画」策定において非常に参考となる体験談を聴いた。

職住近接の企業誘致

令和7年11月5日(水) 和歌山県橋本市

橋本市は、大阪府のベッドタウンとして発展してきた製造業等の雇用の場が少なく若者などの流出を招いていた。そこで平成17年度より若者の雇用機会の確保及び税収確保のため企業誘致を積極的に進め『職住近接のまちづくり』を展開して行き企業誘致施策開始当初は、市内には大規模な工業団地はなく土地開発公社が先行取得した用地等を企業へ紹介していた。

そこで、市内に工業団地を整備するため、積極的に企業誘致を進めている和歌山県と共に、大規模未利用地を所有していたUR都市機構に働きかけ、三者で協議を進め、平成19年度より本市北東部に企業団地を造成することになった。また、橋本市では奨励金制度や税優遇制度の整備やワンストップサービス、雇用対策などを支援策として取り組み、今では誘致企業数57社、従業員数



1981人で(地元雇用1114名、正社員738名、非正社員376名)(市街雇用867名、正社員757名、非正社員110名)外国人雇用者数145名、にまでに大きく成長を遂げた。まんのう町としても、このような企業誘致施策事業としての取り組み方、自社からの訪問や支援策などを目標に真剣に検討し、取り組み方を考えなければならない。

林業・木材業の現状と活性化

令和7年11月6日(木) 奈良県川上村

川上村は、村の面積26.926haのうち森林面積が25.612haと、村域の約95%を森林が占める人口1156人の小さな村である。しかし、約500年の歴史を有する日本三大人工美林の一つとして知られ、独自の高度な林業技術と制度により、良質な森林資源を守り育ててきた。

視察では、山づくりの特徴として、

- 密植(1m間隔で8,000~10,000本を植栽し、競争によって真っ直ぐに育てる)
- 多間伐(何度も間伐を繰り返し、高密度を保ちながら年輪の細かい良材に育成)
- 長伐期(100年から200年という高齢材を育てる)

という伝統技術について説明を受けた。

また、山林所有者の約9割が村外に居住し

ている中、村民が「山守」として山林管理を担う制度が、森林の持続的な維持に大きな役割を果たしていることも確認した。

さらに、一般社団法人「吉野かわかみ社中」の設立経緯や、川上から川下までをつなぐサプライチェーンの構築、環境・経済・社会の調和を目指すサステナビリティ(持続可能性)への取り組みについて説明を受けた。

しかし、さまざまな制度を整えている一方で、人材確保や後継者不足が最大の課題であるとのことであった。

本町においても、森林資源の保全と活用を両立させるため、専門人材の育成と確保などの担い手対策、持続可能な森林経営に向けた取り組みを一層強化していく必要があると感じた。



活かされる
間伐材

住民参加でまちを動かす

令和7年11月5日(水) 和歌山県かつらぎ町

かつらぎ町では、住民参加によるまちづくりと、議会の見える化に積極的に取り組んでいる。

1つ目は、無作為抽出した住民から参加者を募り、町の課題を「自分ごと」として考えてもらう場として「自分ごと化会議」である。令和4年度・5年度は「事業仕分け」、6年度は「住民協議会」として実施され、都市計画マスタープランの策定に向け、公共交通や公園など身近なテーマについて話し合いが行われている。また、参加者同士のつながりが生まれ、参加後に自治会役員に立候補したり、地域活動への広がりも見られるとのこと。

2つ目は、平成29年から実施され、公募と団体推薦による住民が議会の本会議や委員会を傍聴し、意見や感想を議会に届ける「議会モニター制度」である。モニターから

は「議員がここまで熱心に活動しているとは思わなかった」といった声もあり、議会への理解促進につながっている。また、実際にモニター経験者から議員になった方もいる。

視察を通じて、住民が行政や議会に直接関わり、知り、考える仕組みが、まちづくりの担い手を育て、議会への信頼を高めていると感じた。本町においても、議会活動をより身近に感じてもらえる工夫を重ねていく必要性をあらためて認識する機会となった。

また、かつらぎ町議会の「議会だより」は、コンクールにて全国5位となっている。本町議会としても住民のみなさんに読んでもらえる「議会だより」となるよう研鑽に努めたい。



未来につなぐ吉野町の挑戦

令和7年11月6日(木) 奈良県吉野町

吉野町では、デジタル化の推進と次代を担う子どもたちの参画を通じて、持続可能なまちづくりと、町政への関心醸成に取り組んでいる。

1つ目は、令和4年9月に制定された「吉野町デジタル変革条例」に基づく取り組みである。人口減少と少子高齢化が進む中、職員が事業を検討・実施する際にデジタル活用を選択肢の一つとして意識するようになり、特に若手職員の意識変化が進んでいる。

また、地域住民を「スマホDX認定講師」として育成し、最高齢77歳の講師が同世代目線で支援することで、参加者の苦手意識の軽減や学び合いの場の創出につながっている。さらに、郵便局3か所に証明書交付端末を設置し、窓口から遠い地域の住民サービス維持にも役立てているが、今後の更新費

用の財源確保が課題とのこと。

2つ目は、令和5年度から実施されている「こども議会」である。小学6年生全員を対象に授業の一環として行われ、町の総合計画を基にテーマを選び、提案や質問を発表している。そこから、町内割引クーポンや吉野山ライトアップ、金峯山寺の夜間拝観など、実際の施策につながった提案もあり、子どもたちの達成感や町への関心を高めている。

視察を通じて、デジタル化と子どもの参画という2つの取り組みが、町政への関心を高め、将来の担い手を育てる好循環を生んでいると感じた。また、吉野町議会では本会議・委員会ともにケーブルテレビで中継されており、議会の見える化が進められている。本町においても、開かれた議会の実現に向け、映像配信の必要性を改めて認識した。

議員が町の考えを問う!

町議会
ホームページ /



一般質問は、議員が町政全般について
現状や方針を問うものです。
これに対し、町は今後の事業の進め方や
問題解決のための考え方を答えます。



12月定例会では、8人の議員が一般質問を行いました。議員情報等は、まんのう町ホームページ(議会情報 <https://www.town.manno.lg.jp/chosei/gikai/>) に掲載していますので、ご覧ください。

一般質問の記事原稿は、質問した議員の責任において執筆しています。

鈴木 崇容	○特定地域づくり事業協同組合制度の活用	20p
川西 米希子	○子宮頸がん検診	20p
石崎 保彦	○町長の来期町政への取り組み	21p
竹林 昌秀	○「文化財保存活用地域計画」を地域振興として、活性化と誇りを養い、人々を結びつけるために、また交流人口の拡充のために策定できるか。 ○国民健康保険と後期高齢者医療の本町分の運用実績を問う、一人当たりの医療費の経年変化と県下での位置を問う。 ○本町は「元気満々まんのう町」と言えるだろうか。この達成度合いをどう評価しているのか。	21p
松下 一美	○遅れているインフラ整備	22p
常包 恵	○令和8年度予算編成の基本方針と執行体制 ○林業従事者・林業事業者への支援 ○女性活躍の推進	22p
真鍋 泰二郎	○高齢者の運転免許返納と更新	23p
白川 正樹	○出産祝い金	23p

町内事業者の支え

問

地域課題解決の
新たな手法、設立支援は

答

県内実施をしている団体に聞き取りをする

鈴木 総務省が推進する、「特定地域づくり事業協同組合制度」とは、人口急減地域の、域内事業者を助ける制度であり、国費助成や特別交付税や町助成を活用した、4者以上の事業者が共同で設立するもので、繁忙期の人手不足をマルチワークなどで補い、安定的な雇用を創出する仕組みである。人口急減地域である本町の基幹産業である農林業や建設業・土木業・飲食業・食品加工工業など、雇用創出や移住定住に繋げる地域課題解決の新たな手法として、この特定地域づくり事業協同組合の設

鈴木 立を、どのように考え、雇用拡大に繋がる支援をするのか伺う。

町長 本町としては、補助金を交付するため要綱を制定すると共に、予算確保を考え、県内で実施している団体に聞き取りを行い、設置手続きなどは、県の地域活力推進課に相談する。また初めてのケースとなるので、香川県中小企業団体中央会とも相談し、実施可能な補助制度の創設を進め支援をしていく。

※マルチワーク：季節や時間に応じて複数の仕事や事業に従事する新しい働き方



鈴木 崇容
議員

国費助成等の活用を早急に



子宮頸がん検診

問

「HPV検査単独法」を
導入する予定はあるか

答

現段階では考えていない

川西 本町の子宮頸がん検診は、2年に1度の「細胞診検査」を実施している。

国は、令和6年4月から「HPV検査単独法」の導入を可能としたが、実施体制や追跡管理など自治体ごとの整備が前提である。

町長 本町としては、県に広域的な関係機関との協議の場の設置検討を依頼している段階である。また県では「がん対策推進協議会の子宮頸がん部会」において、今後の方針を検討しているところである。

川西 集団検診会場の30歳代の希望者に限らず、10歳刻みで対象年齢を設定し「HPV検査」と「細胞診検査」の併用検査も行う必要があると考える。

川西 本町の子宮頸がんワクチン接種率・子宮頸がん検診受診率を踏まえ、HPV検査単独法の導入が住民の命や健康に与える影響をどのように評価しているか。

町長 先行自治体のデータの蓄積も十分ではなくメリット・デメリットの双方が想定されるため、現時点で評価する事は困難である。

川西 県の医師会等からの見解をどのように方針へ反映しているのか。



川西 米希子
議員

「命を守る」を最優先に

川西 本町の子宮頸がんワクチン接種率・子宮頸がん検診受診率を踏まえ、HPV検査単独法の導入が住民の命や健康に与える影響をどのように評価しているか。

来期町政の取り組み



いしざき やすひこ
石崎 保彦
議員

行政・住民・議会
との三位一体

問 町長へ来期の取り組みを問う
(町長選への出馬)

答

現場の声を政策に繋げ、暮らしの安心・地域の誇りを守り抜く

石崎 来年4月には、我々も町長も任期満了を迎える。来期も町政にとって重要な4年間となる。議会は2名削減し14名で議会運営にあたる。各人の住民に負う責任は格段に重くなる。町長においては、町民・執行部・議会とともに歩む気持ちか否か。すなわち4月の町長選挙への気持ちを伺う。

町長 合併以来20年間、町民の皆様と共に歩み、数々の課題に向き合ってきた。最大の財産は「一人」と「地域のつながり」まんのう町の維持可能な行政運営と、合併から育んできた一体感を次の世代へ確かな形でつなぐ責

任がある。これまでの施策の総仕上げと、合併特例債終了を見据えた財政構造転換、人口減少等その他山積する重要課題に引き続き取り組み、「暮らしの安心」と「地域の誇り」を守り、さらに前進させる覚悟であり、次期町長選挙に6期目として出馬する所存である。

石崎 1期から5期目までを総括し、6期目に臨むにあたり、来期の取り組むべき課題を優先順位1・2・3で伺う。

町長 優先順位1が「行政の自立化と投資の選択・集中」2番目が「移動の基盤を守る仕組みを持続可能にする、地域交通の再編と安定運行」3つ目が「子ども・教育・健康・介護を貫く地域包括ケアの強化」などの、人への投資の再定義だ。

文化財保存活用地域計画



たけばやし まさひで
竹林 昌秀
議員

多様な財源を
有効活用した
地域活性化

問 地域活性化を図れるか

答

保存と活用の指針を定め、地域振興の一助に

竹林 地域の活性化や交流人口拡充のため、当計画を策定できるか。

教育長 令和7年4月に着手し、令和9年12月の認定を目指す。文化財の保存と活用の方向性を示すことで、担い手の誇りの再認識や交流機会の創出につなげたい。

竹林 無形民俗文化財とは何か。本町には何があるか。

教育長 生活の中で継承されてきた風俗習慣や民俗芸能などである。本町には「綾子踊(国指定)」「大川念仏踊(県指定)」「三嶋神社湯立神楽(町指定)」などがある。

竹林 旧仲南町では獅子舞に助成をしていたが、本町の未指定文化財の継承に、過疎債等の財源をどう活用するか。

教育長 獅子舞等の未指定文化財の保存継承に係る経費は、計画の協議会で検討していく。過疎債は財源の一つであるが、公民の補助金等を含め総合的に検討する。

竹林 計画策定にあたり、何を調査しているのか。

教育長 令和7年度においては、地域文化財総合活用推進事業を活用し、未指定文化財の調査を実施している。



里神楽と太鼓台

道路整備

問

遅れている
インフラ整備を問う



まつした かずみ
松下 一美
議員

道路は命の
ライフライン

答

毎年、国・県へ要望している

松下 本町においては、合併特例債により満濃中学校を始め各小学校の耐震化や仲南こども園、南こども園や各公民館の改修、四条公民館の増築等や小学校の放課後児童クラブも完成をみており、満濃農村環境改善センターも解体撤去され、駐車場整備を残すのみだが、反面インフラ整備が遅れている。県道長尾丸亀線の鯨岩付近の歩道の設置や、国道438号線の佐岡交差点付近の歩道の設置、神野の泥田薬師線も未着手だが最近ほ場整備と一体で水路、道路の整備がされるようである。また長炭の大向地区の幹線道路であり老健施設付近の160メートル余りが未舗装で早期の舗装が待たれているが、見解を問う。

町長 国道、県道等は毎年要望をおこなっている。農道や生活道においても、国費、県費の補助制度を活用し、また町独自の補助制度を活用し対応していく。



歩道の整備が急がれる佐岡交差点付近

林業支援

問

林業従事者、事業者へ支援を



つねかね めぐみ
常包 恵
議員

給料、休暇等で
魅力ある職場に

答

安定雇用のために事業量確保に努力

常包 町面積の69%が森林、林業振興の中心となるヒノキが県内で一番多い。町内の森林に関して課題は何か。

昨年、県立農業大の造園・緑化コースに林業が加わった。来春卒業予定者の内、3人が林業関係に就職内定している。林業従事者の高齢化、雇用が継続しない等の課題が多く聞かれるが、給料、休暇などで魅力ある職場になるよう町として更なる支援ができるか。

町長 伐採可能な51年生以上が約4割と多い反面、20年生以下のものが少ない。伐採が急激に進むと、将来、資源の確保に支障が生じかねない。

現場作業員は、仕事がつく危険、日給月給で所得不安定等から長続きしない、との問題を聞いている。県と市町が森林環境譲与税の一部を拠出して、国の支援に上乗せ助成している。町として、安定雇用のために事業量を安定的に確保していくとともに、町の森林委員会での意見を参考に独自の有効な支援策を検討していきたい。

常包 吉野・桶樋地区に県森林組合連合会が整備する製材所のメリットは、県森連から、庭木等の持ち込みも検討しているとの説明があった。

町長 新たな雇用の創出と、原木搬出の経費減少による収入の増加、林業従事者の収入の向上や林業の魅力向上につながることを考えている。個人の樹木持ち込みについても、実現できるよう働きかけしていく。

免許返納と更新

問

運転免許更新に関する啓発は

答

警察等と連携した啓発の実施を検討する



まなべ たいじろう
真鍋 泰二郎
議員

高齢者講習の
予約はお早めに



高齢者講習

真鍋 免許更新時の高齢者講習は予約が取りにくい状況である。早やめに

町長 高齢者の免許返納に当たっては、返納後の移動手段確保を最重要課題と位置付けている。関係課や社協等と連携し調査研究を進めるとともに、公共交通の基盤整備や、あいあいタクシー・福祉タクシー券等の制度充実を図り、安心して返納できる環境づくりに取り組む。

町長 免許更新の啓発、交通安全啓発、免許返納支援、代替移動手段の周知を一体的に推進する。また、警察等と連携した啓発や広報の検討を行うと共に、「高齢者安全運転サポート事業」や返納者支援制度を具体的に示し、更新・返納の判断を支える情報提供を強化する。

出産祝い金

問

現行水準より
桁違いの金額支給を

答

実現したい思いは同じである



しらかわ まさき
白川 正樹
議員

第4子は
1000万円を



すくすく育てほしい

一方で現実の財政運営を考えると、直ちにその水

白川 まんのう町では、出産祝い金を第1子、第2子は5万円、第3子以降は10万円支給しています。これを大幅に引き上げ、第1子が2歳までさかのぼり100万円、第2子は200万円、第3子は300万円、そして第4子以降は1000万円を支給してはどうか。

町長 大胆な引き上げについて、大変に意欲的で、私自身まちの未来を拓くという意味で「心が動く」という提案だと受け取った。力強いメッセージ性は、まんのう町の魅力発信という観点からも、確かに大きなインパクトがある。

準へ一気に踏み出すことはなかなか難しい部分がある。

財源の安定確保など、詰めるべき論点が多岐にわたるためだ。現行水準と比較すると、今回の提案は桁の違う拡充であり、効果の検証と持続可能性の見極めを、段階的・複線的に行う必要がある。とはいえ、提案の方向性は、まさに町の将来像に資する「攻め」の発想であり、前向きに受け止めたい。提案は「すごい案」であり私も「できることなら実現したい」との思いは同じである。支給金額の引き上げに向けた調査・研究を進めていく。

2026年

作・画 願井 叶

新しい年を
迎えます。



議会だよりを
読んでくれた方も
そうでない方も、
いい年になります
ように。

馬が象かぞうちやぞう



午年です。
馬のように
飛躍する年に
するぞう。

一年中で
一番厳しい
季節になりました。



4月になれば
桜の花が
14輪咲きます。



To be continued

#人と自然が輝くまち Magazine Photo Gallery



つく人もこねる人も議員です
(仲南地区)



幸せが舞いおりました
(仲南地区R7.12.2)



吹佐古から見た美しい風景
(琴南地区)

あとがき

委員長 白川 正樹

早いもので4年の任期が、残り2ヶ月余りとなりました。今号では、第17回議会報告会の記事を掲載しています。掲載されているもの以外にも、多くのご意見・ご要望をいただきありがとうございました。

さて、この広報委員会のメンバーでの編集作業は「議会だより58号」をもって最後となります。今年4月以降は新体制の広報委員会となりますが、今以上にわかりやすい「議会だより」となるよう、しっかりと引き継ぎをしたいと思います。

1年中最も寒い季節になりました。体調管理に気を付けて、この冬を乗り切りましょう。

春がそこまで来ています。2ヶ月後には、春が来ます。



- 樹 正 樹 委員長
- 樹 正 希 正 委員長
- 川 鍋 西 林 木 崎 正 委員長
- 白 眞 川 竹 鈴 石 正 委員長
- 委員 長 員 員 員 員
- 委員 長 員 員 員 員
- 委員 長 員 員 員 員
- 委員 長 員 員 員 員